

ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業
(福島県介護ロボット普及促進事業)

無料貸し出し実施施設募集要領

募集期間

2025年6月9日(月)～2025年7月8日(火) 17:00必着

2025年6月

ふくしま医療機器開発支援センター

問合せ先

ふくしま医療機器開発支援センター

指定管理団体：一般財団法人ふくしま医療機器産業機構

事業企画推進部 担当：土田、及川

〒963-8041

福島県郡山市富田町字満水田 27 番 8

TEL：024-954-4014 MAIL：robot@fmdipa.or.jp

HP：https://fmddsc.jp/



1 事業の目的及び実施内容

介護ロボット（以下、「ロボット」という。）の実用性について、介護現場で実践する機会を提供しロボットの活用を通じて、介護施設での使用における介護サービスの質の向上や労働環境改善への理解を深めること。また、導入の促進に繋げることを目的として、高齢者介護施設・介護事業所等にロボットを一定期間無料で貸し出しする事業を実施します。

2 対象施設

対象施設は、福島県内の高齢者介護施設または介護事業所等です。

【高齢者介護施設】

《県（中核市）が指定・監督を行うサービス》

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設

《市町村が指定・監督を行うサービス》

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（地域密着型特別養護老人ホーム）

【介護事業所】

《県（中核市）が指定・監督を行うサービス》

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所リハビリテーション、
通所介護、訪問リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、
特定施設入居者生活介護、介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問看護、
介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護、
介護予防短期入所療養介護、介護予防特定施設入居

《市町村が指定・監督を行うサービス》

定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、
地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、
認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）、介護予防認知症対応型通所介護、
介護予防小規模多機能型居宅介護、介護予防認知症対応型共同生活介護

3 対象ロボット

- 1) 「移乗です」Ⅱ (株式会社あかね福祉)
- 2) マッスルスーツ一式 (株式会社イノフィス)
(EXO-POWER1 台、Soft-Power2 台)
- 3) 離床センサーAISH (株式会社エヌジェイアイ)
- 4) FTcare-i×NBDX (株式会社ヘルステクノロジー)
- 5) 対象ロボット紹介

対象ロボットについての動画を①URL 及び②二次元バーコードで公開しております。当該動画は限定公開 (URL 及び二次元バーコードを知っているもののみがアクセスできる公開様式) であるため、検索エンジン等で検索してもアクセスはできませんので、直

接 URL または二次元バーコードからアクセスしてください。

①URL

<https://drive.google.com/drive/folders/1ewVnVSHgHQLLzaBGUMviLWscVZxAZQ2M>

②二次元バーコード



4 期間及び募集施設数、貸し出し台数

1) ロボットの機種・貸出期間については、以下となります。ご希望の機種をお選びください。

対象 ロボット	■「移乗です」Ⅱ (株)あかね福祉 ■マッスルスーツ一式 (EXO-POWER1 台、Soft-Power2 台) (株)イノフィス ■離床センサーAISH (株)エヌジェイアイ ※ 本製品は事業所の Wi-Fi 環境を利用します。タブレット、ノート PC が必要な場合は貸出可能です。 ■FTcare-i×NBDX (株)ヘルステクノロジー ※ 本製品は、事業所の Wi-Fi 環境を利用します。また、安全使用講習の他に、3 回程度の IT 人材育成勉強会も実施予定です。
貸出期間	9 月上旬から 12 月中旬 (3 か月)
貸出 施設数	全体では 20 施設を想定しています (各機種 5 施設程度)
貸出台数	各施設 1 機種

※ 申込多数の場合は審査会にて審査をし、貸出施設を決定いたします。先着順ではございません。

2) 納入について

対象ロボット	方法
マッスルスーツ	運送業者より安全使用講習前日までに施設へ配送
「移乗です」Ⅱ 離床センサーAISH FTcare-i×NBDX	貸出初日、メーカーが直接施設へ納入

3) 事前セミナーへの参加

ロボット貸し出しが始まる前に、事前セミナーを実施します。申込時点で、原則「参加」となっております。当事業の目的や貸し出しの流れ、介護生産性向上の必要性などを説明いたしますので、ご参加ください。

日時：2025年8月8日（金）14時00分～15時00分 WEB開催

※ 詳細については、別途ご案内いたします。

4) 安全使用講習への参加

安全にご使用していただくため初日に講習を行いますので、実際に使用される予定の方が講習に必ず参加してください。参加されない場合は、貸し出しを中止する場合がございます。

＜安全使用講習の手法＞

マッスルスーツ：オンラインで実施。

「移乗です」Ⅱ：メーカーが納入時に施設にて実施。

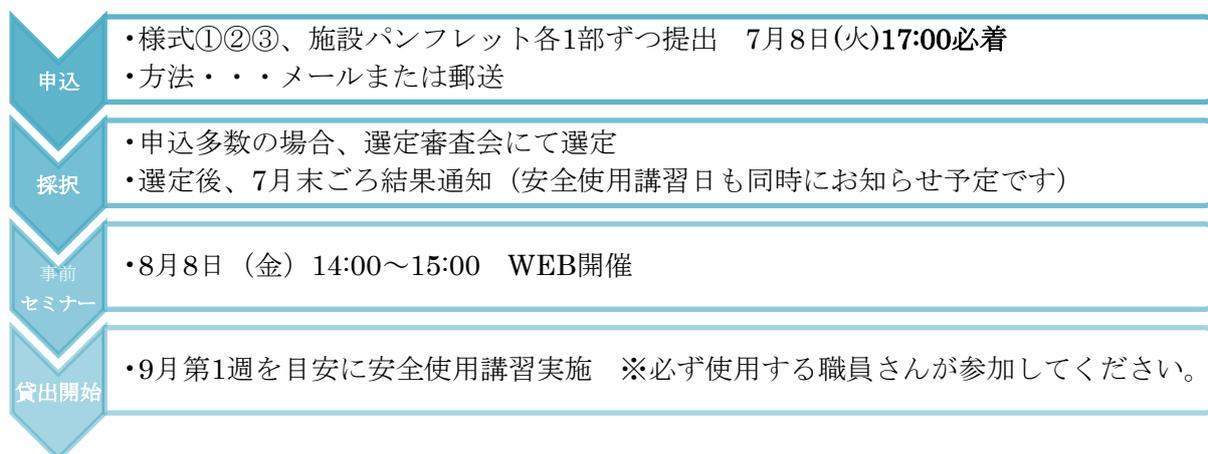
離床センサーAISH：メーカーが納入時に施設にて実施。

FTcare-i×NBDX：メーカーが納入時に施設にて実施。

※ 安全使用講習の日程については、審査後、施設へ別途ご案内いたします。

5 応募手続き等

〈申込から貸出開始までのイメージ〉



1) 募集期間

2025年6月9日（月）～2025年7月8日（火）17:00必着

2) 提出先（問合せ先）

ふくしま医療機器開発支援センター 事業企画推進部 担当 土田、及川
〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田27番8
TEL：024-954-4014 MAIL：robot@fmdipa.or.jp

3) 提出書類

- ・様式1 無料貸し出し実施施設申込書 1部
- ・様式2 施設及びロボットの使用予定について 1部
- ・様式3 暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書 1部
- ・施設パンフレット 1部

※ 紙ベースのパンフレットがない場合は、HPでも構いません。

4) 提出方法

ア) パソコンで記入した場合：記入データをメールに添付しご提出ください。

イ) 手書きで記入した場合：原本を郵送でご提出ください。

※ 書類の不備があった際、円滑に修正ができるため、可能な限りア)の方法をご検討ください。

6 審査及び決定

1) 審査

募集期間終了後、福島県保健福祉部高齢福祉課と機構において審査を行います。

2) 決定通知

審査後、申込者に「実施施設可否決定通知書」を送付いたします。

7 無料貸し出し実施施設（以下、「施設」という。）へのお願い

- 1) 施設は、契約した施設のみでロボットを使用することとします。
- 2) 施設は、ロボットを使用する前に各ロボットメーカーが実施する「安全使用講習」を必ず受講しなければなりません。
- 3) 施設は、安全使用講習で各メーカーが説明した内容に沿って、ロボットを使用してください。
- 4) 施設は、機構やメーカーが行うヒアリング・アンケートに協力してください。
- 5) 施設は、事務局から新聞やテレビ、雑誌等マスコミ関係の取材の依頼があった場合は積極的に協力してください。
- 6) 施設は、ロボットの分解、他施設等への貸し出し、譲渡、売却を行ってはなりません。
- 7) 施設は、ロボットについて運用上知り得た秘密を他に漏らしてはなりません。
- 8) ロボットの使用にあたって必要となる経費（充電の際必要となる電気代等）は、施設の負担となります。

8 補償について

- 1) ロボットの設計、製造、品質管理、取扱説明等の不備・不足により、施設の破損及び職員、利用者が負傷または死亡した場合は、各ロボットメーカーが加入する「製造物責任保険」より補償します。

- 2) 施設及び職員の過失により、貸し出しするロボットが破損した場合は、当機構が加入する保険により補償します。破損部分の修理費用が保険の補償額を上回る場合は、機構と施設で協議の上、決定します。
- 3) 施設及び職員の過失により、施設の破損及び職員、利用者が負傷または死亡した場合は、施設において補償をお願いします。
- 4) 施設及び施設職員の故意により発生した損害は、すべて施設において補償をお願いします。